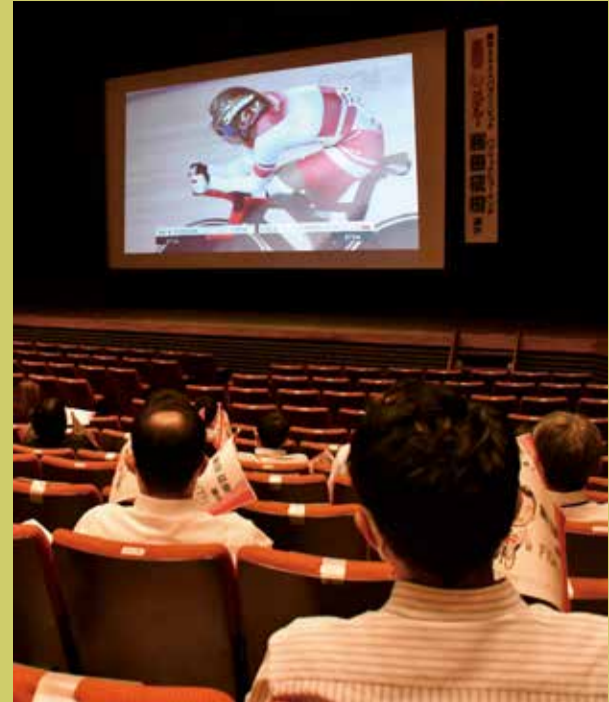


悲劇を繰り返さないために

8月20日(金)、総合福祉センターで、「第59回氷雪の門・九人の乙女の碑平和祈念祭」が執り行われました。式典では、九人の乙女の元同僚である栗山 知恵子さんらが祭壇に花輪を捧げ、また、参列者全員で樺太の地で亡くなった人たちの冥福を祈り献花を行い、平和への決意を新たにしていました。



最北から熱い声援を

8月26日(木)、東京2020パラリンピックの自転車競技に出場する、本市出身の藤田 征樹選手を応援するため、総合文化センター大ホールで「パブリックビューイング」が行われ、120人の市民がスクリーン越しに熱い声援を送りました。過去3大会連続でメダルを獲得しており、今大会は惜しくもメダルに届きませんでしたが、世界と闘う勇敢な姿を見せてくれました。



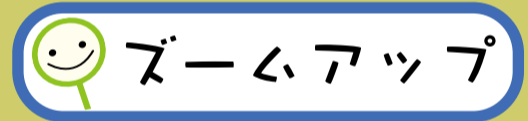
8月30日(月)(株)フジドリームエアラインズ(FDA)による今年度の稚内チャーターが最終便となり、新潟空港に向かう乗客に対して、関係者ら約10人が、稚内空港エプロン内でお見送りをしました。コロナ感染防止のため、例年行っている記念品を配布するなどのセレモニーは中止となりましたが、ご当地キャラクターの「りんぞうくん」と「出汁の介」も駆けつけ、記念写真を撮るなど、旅行者にとって、思い出に残る旅となったのではないのでしょうか。

来年もお待ちしています



世界の恒久平和を願い

稚内市では、大韓航空機事件が起きた9月1日を「平和の日」と定め、毎年、宗谷岬平和公園を会場に記念式典を開催しています。式典では、児童生徒の代表6人が、恒久平和への決意の言葉を述べたほか、参列者全員で世界平和の鐘を打ち鳴らし、平和への想いを新たにしていました。また、同日夜には、北防波堤ドームなど市内6か所で「稚内市 子育て平和祈念の灯」が灯され、子育て平和への願いと、大韓航空機事件で亡くなった犠牲者の冥福を静かに祈りました。



いっぱい収穫したよ

9月7日(火)、富岡幼稚園内では、園児による「じゃがいも掘り」が行われました。園児たちは、ビニール袋とシャベルを手に畑に入り、先生からの説明を聞いた後、早速芋掘りを開始。土を掘っていくと、大小さまざまな大きさの芋が出てきて、大物を見つけるたびに歓声を上げながら、収穫の喜びを堪能していました。



草木染めを楽しむ

9月5日(日)、青少年科学館では大人のためのサイエンス工房が開かれ、市民10人が参加して、藍染めとスオウ染めに挑戦しました。職員が事前に準備した染液に、各自持参したTシャツやハンカチなどをそのまま浸したり、スオウ染めは、染液を火にかけて温度を上げながら染め上げていきます。染め終わったあとは、屋上で干しながら発色させていき、染め具合をチェック。思いどおりに染まった出来栄に、参加者たちは満足気な表情を浮かべていました。